

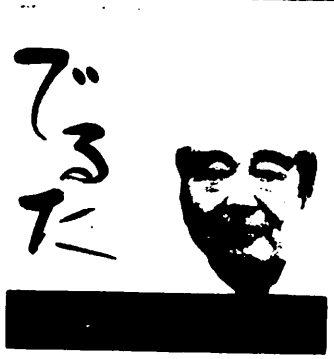
中国気月夕

中国新聞
広島市中区
〒730-8677
中国新聞

2010年(平成22年) 8月25日(水曜日)

(夕刊)

旅行



「一身にして一生を経る」

これは江戸時代に日本地図を作った伊能忠敬の「生き方」を表現したものである。彼は50歳で隠居した後、星学、曆学の勉強を始め、56歳から71歳まで、日本中の海岸線

を歩き回り、実際による日本地図を完成させたのである。実にすごいことだと思っ

自分は若い時から地理、歴史が好きで、自分の生まれた日本の海岸線沿いをゆっくりと旅し、そして、その先々でのいろんな人との出会いを夢見ていた。

幸いなことに、仕事などの関係もあって、これまでに国内の

各県をすべて旅することができ、また各県に知人がいる。それぞれの地域特有のさまざまな地形、自然や歴史を大まかに知ることができた。元気なうちに日本中の海岸線沿いの港町を、あちこち放浪の旅を試してみたいと思っようになっていた。

そして今年3月末、完全に仕事を辞め、まさか「自由の身」となった。旅立ちに備え、近場を回ってみると、伊能忠敬は倉橋の鹿老渡りに泊、宮島にも宿泊していることが分かってきた。また先日、ぶらりと四国

人生の再スタート

を回った際に、旧知の友たちと酒をくみ交わ

し、お国自慢をしながら過ごした時間は、本当に楽しく、これからの本格的な旅が、ますます楽しみになってきた。

伊能忠敬の作った日本地図の海岸線を頼りに、日本中の港町を旅する人生の再スタートはもうすぐである。

(伊能忠敬の足跡を楽しく旅する会代表 江田島市)